

第4学年
学級通信
第39号

菖葦の流れ作業



卒業生を送る会が近づいてきました。四年生の飾り付け作成の担当は、菖葦作りとお花作りです。

菖葦作りについては、四年生にしかできないという事、指定されたのですが、全員が作れるわけではないのでちょっと困っています。

菖葦作りの一日目は、とりあえず各自が一つつく



て見ることにしました。こちらとしては一折り一折り丁寧につくって指導しているつもりなのですが、なかなかうまくいきません。また、途中でどうしても上手く説明することができなれてもらうしかなないところがあり、一時間で一つも完成できませんでした。

これではノルマの百五十

個をつくることはとうてい不可能です。よって二日目は流れ作業でやることにしました。一人一折りを基本にして、全員に作業を割り振ってやってみました。最初はすこしもたつきましたが、慣れてくるとかなりの早さで菖葦ができていきます。

三日目は、三年生の研究授業に私が参観に出かけるのでその間の自習課題としてやってみました。

その結果、たった三日間、流れ作業にしてからは一時間半ほどで百五十個の菖葦が完成しました。

はやく終わってラインの児童が、遅れているラインを手伝って協力してやったそうです。完成したこともすばらしいのですが、担任がいけないときに協力してできたことがもつとすばらしいです。あまりにすばらしいので鈴木先生と相談してさらに百五十個の菖葦を追加することにしたので、せっかく終わったのに！と文句を言う児童もいました。できるからやらせるのです。すばらしい人たちだから、仕事もやってくるのです。

相子「文句を言う前に」

給食時間の食堂は、人数が多いためそれなりに騒がしいです。私個人としては禅寺でもないのに、無言で静まりかえった中で食事をする必要はないと思うのですが、ある程度節度をもつて会話して欲しいと思っています。児童会総会の質問書を見ると、情報委員会の昼の放送に対して、笑わな

いではいとか、もつと大きな声で言うて欲しいとかの苦情が結構書かれていました。それを見たときはなるほどな〜と思ったのですが、苦情を書きながらも放送を聞かずにおしゃべりしている様子を見て、まずは自分たちが聞こうとするところが大事だよな〜と思いました。

ノートで百冊をやる

今年度中に使用済みノートが百冊になりそうです。子どもたちは記念イベントを期待しているのですが、学級費は残高三百円ちよつとです。昔だったら粉ジュース(知っている人います?)を雪にかけて食べる

くらいのは事ではできませんが、いまは無理です。

お金がかからないけどゴージャズなイベントを思案中です。家にある冷や飯や食材を持ち寄ってチャーパーティーなんてどうかしら?

来週のバス 来週の予定

日	15:00/16:20	3日	全校朝会
曜	15:45/16:30		児童会総会
日	15:45/16:20	4日	ドリルタイム
曜	15:45/16:30	5日	体育集会
日	16:20	6日	読書タイム
曜			卒業生を送る会
水		7日	児童集会
曜			委員会
金			